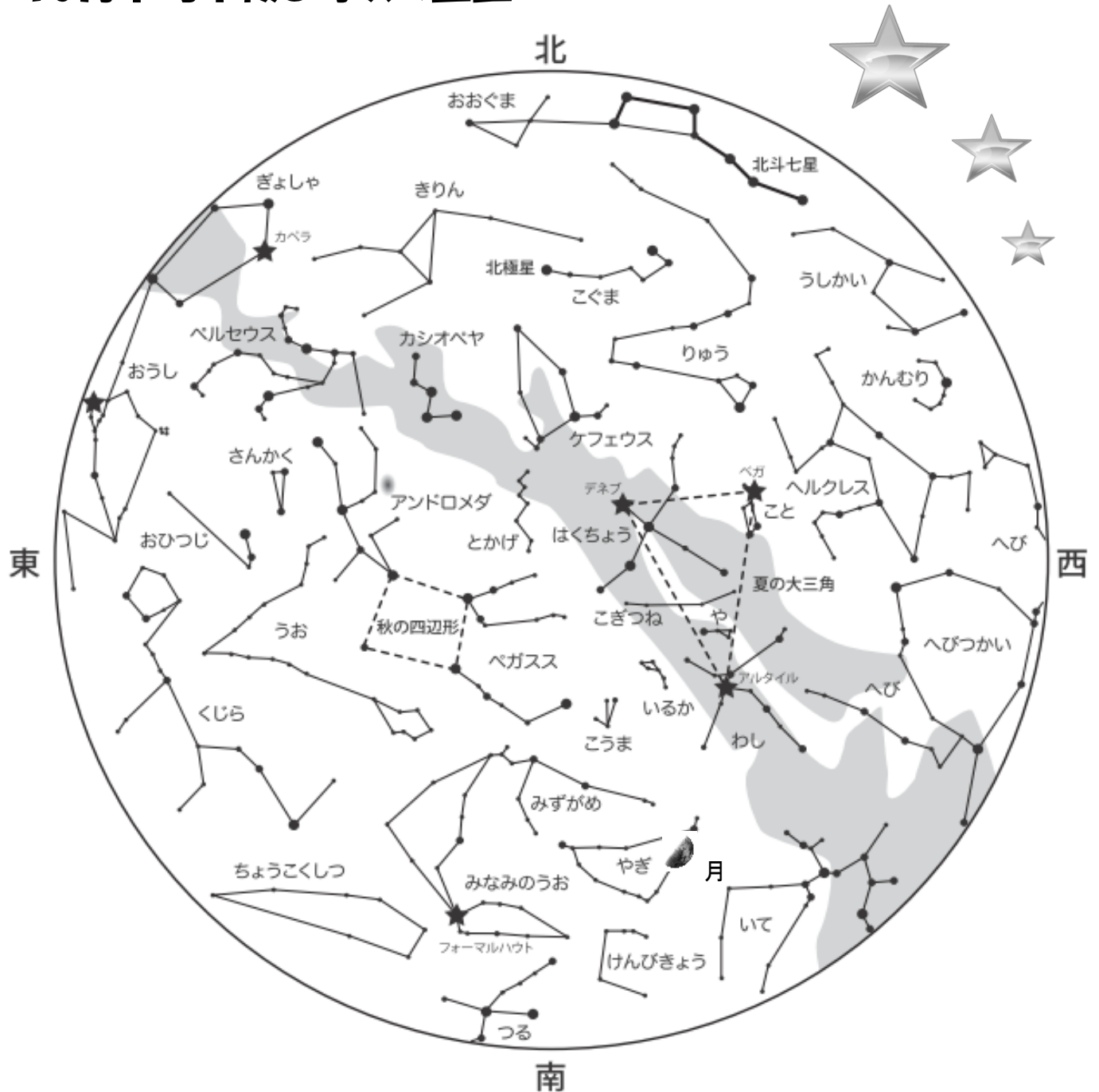


松江市立天文台～10月の天文教室～

平成27年10月21日

10月下旬午後8時頃の星空



もうすっかり日の入りが早くなり、午後6時半にはすっかり暗くなっています。

空の星座達も、夏の星座から秋の星座への変り目です。

頭の真上に見えていた夏の大三角は、徐々に西の空に動き、替わりにアンドロメダ座とペガサス座の星でかたち作られる秋の四辺形が東から昇ってきます。

10月中旬午後8時頃の星空です。

月の見かけの大きさは強調してあります。

この星図で星を探すときは、見る方角を下にしてみましょう。

今夜の月

今夜の月は月齢8、上弦(しょうげん)の月です。これは、半月を弓にみたてて、まっすぐな欠け際(弓の弦)が上になって月が沈むことから、そう呼ばれています。

反対に月齢22頃の月は、弓の弦が下になっているので、下弦の月といいます。

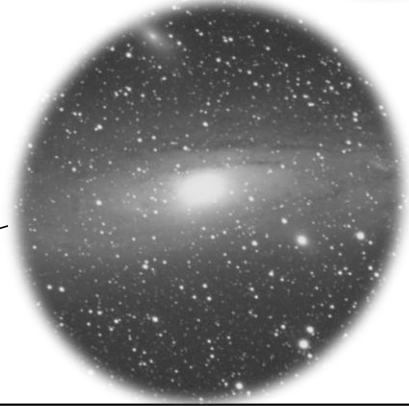
日本ではこのほかにも、月齢によって三日月、十三夜、満月、十六夜(いざよい)、有明など、情緒あふれる固有の名前が付けられています。



アンドロメダ座



アルマク



アンドロメダ銀河M31

230万光年のかなたにある銀河です。

双眼鏡でも楕円形の雲が空に浮いているように見えます。

二重星アルマク

アンドロメダの左足先にあり、アルマク(くつ)という名前が付けられた星です。

天体望遠鏡で拡大すると、2等星と5等星に分かれて見える美しい二重星です。

アンドロメダ座はくじら座(怪物ティアマト)のいけにえにされそうになったアンドロメダ姫を表しています。この後、天馬ペガサスに乗った英雄ペルセウスがティアマトを倒し、アンドロメダを救い出すという壮大な物語が、秋の星座にちりばめられています。

国際宇宙ステーションを見よう

日本の油井宇宙飛行士が乗っている国際宇宙ステーション(ISS)が10月22日・25日に好条件で見られます。

他の星に比べひとときわ明い光の点が空を移動していく光景は圧巻です。

| 日付 | 見え始め | | | 最大高度 | | | 見え終わり | | |
|--------|--------|----|-------|--------|-----|-------|---------|----|-------|
| | 時刻 | 方向 | 高度(度) | 時刻 | 方向 | 高度(度) | 時刻 | 方向 | 高度(度) |
| 10月22日 | 18時54分 | 北西 | 13 | 18時57分 | 北北西 | 63 | 最大高度で消失 | | 63 |
| 10月25日 | 17時53分 | 北西 | 10 | 17時56分 | 西北西 | 74 | 17時59分 | 南東 | 14 |

天文のデータは主に天文年鑑から、国際宇宙ステーションの位置データはJAXAから引用しています。使用する天体望遠鏡によっては、視野の上下左右が逆に見えます。また、空のコンディション(雲、透明度)により、天体の見え方は違います。



次回の天文教室

開催日 11月18日(水) 20時から21時まで

(受付は19時30分から市役所正面玄関で行います。)

事前の予約は不要です。